



帝和5年3月 南国市 地域公共交通 計画 ~概要版~











1 計画策定の趣旨

勉学を積むための通学、職場への通勤、親しい友人を訪ねることなど、人にとって移動は、自己実現に欠くことのできない価値を有するものです。そして、自家用車などの移動手段を持たない児童や高齢者などにとって、公共交通は、その生活に欠くことのできない社会インフラとして最大限確保・維持されるべきものです。

一方、南国市ではモータリゼーション(自家用車の生活必需品化)に伴い、公共交通の利用者数が縮減することに加え、公共交通事業者における乗務員の確保が困難な状況がみられ、将来にわたって持続可能な地域公共交通体系の構築が喫緊の課題となっています。

このような背景から、これまでの取り組みを継続しつつ、鉄道、 軌道、空港、高速道路など広域交通の要衝でもある本市の公共交通 体系を、地域戦略と整合する形で示す「南国市地域公共交通計画」 を策定し、将来にわたって持続可能な公共交通ネットワークの構築 に向けた取り組みを行うものです。



【南国市コミュニティバス】

2. 計画の区域・期間・対象

本計画の区域:南国市全域

本計画の対象:鉄道・路面電車・路線バス・乗合タクシー

本計画の期間: 令和5年度(2023年度)から令和9年度(2027年度)までの5年間

3. 計画の位置づけ

地域公共交通活性化・再生法の一部改正(令和2年11月施行)

まちづくり、観光振 興等の地域戦略との 一体性の確保 地域全体を見渡し た総合的な公共交 通網の形成

地域特性に応じた 多様な交通サービ スの組合せ

住民の協力を含 む関係者の連携 地域が自らデザ インする地域の 交通

関連計画との整合

南国市地域公共交通網形成計画(平成30年7月)

整合•進展

第4次南国市総合計画 (平成28年3月・令和3年5月後期基本計画)

第2期南国市まち・ひと・しごと創生総合戦略(令和2年3月)

第2次南国市都市計画マスタープラン (令和2年3月)

南国市立地適正化計画(平成31年3月)

南国市地域公共交通計画

4. 南国市の現状と課題

【公共交通現況より考慮すべきキーワード】

- 今後も予想される人口減少
- ・ 高齢化の進展
- 潜在的な公共交通利用者の存在と増加見込み
- ・将来に対する不安
- 自家用車への依存
- ・公共交通に関する関心の低さ
- 利用者ニーズに対する相違の声
- ・高齢者等が利用しやすい環境整備
- 空白地域の存在
- 来訪客に対する移動ルートの確保

【関連計画より 考慮すべきキーワード】

- 持続可能な公共交通網
- ・ 集落での公共交通アクセスの充実
- 「スポット的」公共交通空白地域
- 観光振興に対する公共交通
- ・空港からのアクセス性向上

地域公共交通の課題

①住民・公共交通事業者・行政の連携による公共交通の維持

- 〇市民が活用することで維持できる事を知ってもらい、公共交通への関心を促し、積極 的に利用を促進していく必要がある。
- 〇バスの運行本数の便数や乗り継ぎに関する不満が多いことから、需要・ニーズに対応 したサービス水準の見直しが必要である。

②交通弱者や公共交通空白地域を考慮した効果的な公共交通体系の構築

○最寄りのバス停や駅まで歩くことが出来ない高齢者の移動手段を確保するため、日常 の移動ニーズに対応した移動手段の提供が求められる。

③まちづくりと公共交通体系の一体的な展開

〇高齢者や障害者等、誰もが利用しやすい公共交通として、移動円滑化のためのバリア フリーに対応した環境整備が必要である。

④観光振興に資する公共交通ネットワークの構築

○高知龍馬空港と南国市へ連絡する公共交通が不足しているため、空港からの二次ネッ トワークの構築と周遊性の向上が必要である。

○市民の移動手段の多くが自家用車移動に依存している中、公共交通に関する情報を知 らない等、関心が薄い状況であることから、既存の「南国市公共交通マップ」を積極 的に活用するとともにわかりやすく、使いやすい情報周知が求められる。

⑤情報提供(プロモーション)活動の強化

5. 目指すべき地域公共交通体系

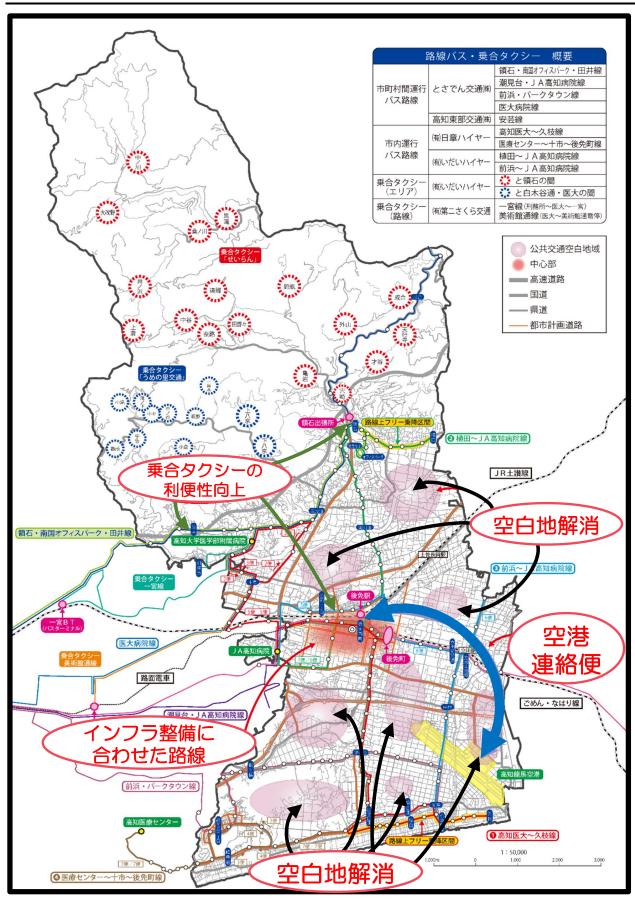


図 課題図

6. 基本方針・目標・施策及び具体的事業

【基本方針】

誰もが安心して心豊かに 過ごすことのできるまちを支える持続可能な公共交通

(基本目標1)地域ニーズに即した利便性の高い公共交通

■施策1:地域公共交通の再編、強化

事業①: 定期的な利用者調査

〇市民アンケートを実施し、満足度 合い・改善点の内容を把握すると 共に適宜、改善活動を実施するこ とで利用者の増加及び満足度向上 を目指します。



■施策1:地域公共交通の再編、強化

事業②:公共交通空白地域に対する

新たな交通手段の検討

〇公共交通空白地域(利用不便地域) の現状を把握し、必要とする交通手 段の検討を行い、本格運行による利 用不便地域の解消を目指します。

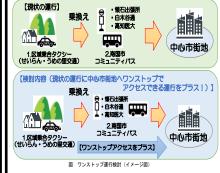


■施策1:地域公共交通の再編、強化

事業③:コミュニティバス、デマン

ド交通の利用促進と強化

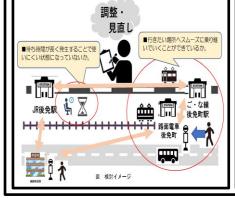
〇利用のしづらさを改善し、山間地 区からの利用者を増やし、安定的 な利用者の確保を目指します。



■施策2:交通結節点の強化

事業④:乗継ダイヤ調整・見直し

○乗継に対する不満の声も少なくな いことから、現行の乗継に対する 改善点を調査及び確認を行い、改 善に導くことで利用者増加と満足 度向上を目指します。



■施策2:交通結節点の強化

事業⑤:ICカード「ですか」の利用

促進

OIC カード「ですか」の良さを知っ

てもらうための普及活動を行い、公 共交通利用者の増加及び安定的な公 共交通利用者の確保を目指します。



■施策3:地域と連携した事業の推進 事業6:運転免許自主返納者への利 用促進

〇運転免許証自主返納者支援として 割引制度を周知し、制度利用の促 進を図ると共に自主返納の契機創 出を目的とし、潜在的な公共交通 利用者である自主返納者増加を目 指します。



【基本方針】

誰もが安心して心豊かに 過ごすことのできるまちを支える持続可能な公共交通

(基本目標2) まちづくりと連携し、人の交流を促す公共交通

■施策 4: 快適に利用できる環境づくり 事業⑦・⑧: 利用しやすい環境整備 (駅周辺・関連施設)

○駅利用における利用不便箇所(段差・溝・駐輪駐車スペース等)の 把握、及び利用者が多いべス停等の利 用環境の改善により、快適に待ち時間を 過ごすことのできる環境の改善を実施す ることで、利用者の満足度向上を目 指します。



■施策 5:観光施設との連携・強化 事業⑨:高知龍馬空港と市街地間の

事業9:高知龍馬空港と市街地間の 空港連絡線運行の検討

○空港利用者が南国市の魅力に触れる橋渡しとなるべく、市街地とを連絡する空港連絡線の運行を検討し、観光客の周遊性向上を目指します。



■施策6:市民への情報提供

事業⑩:円滑に乗降・乗継が可能な 情報提供と改善

〇時刻表の読取りにくさを改善し、 利用者の理解度向上を目指しま す。また、新技術の導入及び利用 促進を行うことでの利用者確保及 び満足度向上を目指します。



(基本目標3) 多様な主体が協働することによる持続可能な公共交通

■施策 6:市民への情報提供

事業①: ICT 技術やデータを活用した 一体的サービスの展開・強化

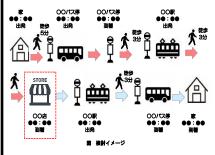
○待ち時間を見える化することで の、利用者の確保及び満足度向上 を目指します。



■施策7:地域公共交通利用のための意識の 事業⑫:地域移動におけるモデルコースの

作成

〇地域ニーズに応じた、主要移動パ ターン(買物・通院)となるモデル コース(ルート)の情報提供を行う ことで外出機会の増加を目指しま す。

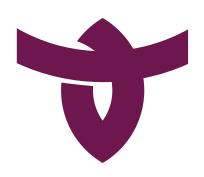


■施策7:地域公共交通利用のための意識醸成

事業(③: 地域・企業・学校等と連携した モビリティマネジメントの実施

〇地域と連携し「多様な交通手段を適 度にかしこく利用する」意識の醸成 を図ることを目指します。





〒783-8501 高知県南国市大埇甲 2301 番地

TEL: 088-863-2111(代表) Fax: 088-863-1167(代表)

URL: https://www.city.nankoku.lg.jp/

発行年月:令和5年3月

発行:南国市

編集:南国市企画課